

科 目 名	ベーシック生物	普通科・選択 3学年・2単位
目 標	細胞の働き及びDNAの構造と機能の概要を学ぶことにより、生物についての共通性と多様性の視点を身につける。生物には体内環境を維持する仕組みがあることを学ぶことにより、体内環境の維持と健康との関係について理解できるようになる。	
位 置 づ け	日常生活や社会との関連を図りながら、生物や生物現象について理解するとともに、科学的に探究するた めに必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにすることが大切です。	

■使用する教材 ・問題集 ・プリント ・生物基礎の教科書	■学習する単元とおおよその時期 ・第1章 生物の特徴【4～5月】 ・第2章 遺伝子とその働き【6～7月】 ・第3章 ヒトのからだの調節【7～9月】 ・第4章 植生と遷移【9～10月】 ・第5章 生態系とその保全【11月】 ・問題演習 【12月】
■授業の流れ、予習・復習を含めた学習方法 ・授業は基本的に問題集に沿って進めるので、1年次の授業ノートや教科書を確認しておくことと授業時の理解度は上がる。 ・問題演習は、演習後の解説確認も大切です。しっかりと確認する習慣を身につけましょう。	

■観点別評価について

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価基準	A ・授業内容を理解し、自分の言葉で説明することができる。 ・実験や観察を手順通りに行うことができ、各手順や試薬等の役割を理解している。	・教科書の問や授業時の教員の発問に対し、推測⇒考察すること で自身の考えをまとめ、周囲と共有し、考えを深化させることができる。	・予習⇒授業⇒復習の中で、見直しをもって取り組んだり、学びを振り返ったりするなど、自らの考えを調整しながら理解しようとしている。
	B ・授業内容を理解している。 ・実験や観察を手順通りに行うことができる。	・教科書の問や授業時の教員の発問に対し、推測し、周囲と共有することができる。	・学びを振り返り、自らの考えを調整しながら理解しようとしている。
	C 上記が達成できていない	上記が達成できていない	上記が達成できていない
評価の場面	定期考査、単元テスト、小テスト 課題(レポート)の提出内容	定期考査、単元テスト 授業中の発言内容	授業中の参加態度 課題、ノート等の提出状況

- 自己評価について**
 授業評価と連動させた Google フォームで、実施します。
- ・生徒自身が3観点について、振り返る
 - ・生徒自身の取り組み方について

■領域ごとの授業時間数について（現代の国語、言語文化 のみ）

単 元 名								
話すこと・聞くこと								
書くこと								
読むこと								

※前頁の「■学習する単元とおおよその時期」とリンクさせてください

■領域ごとの授業時間数について（英語コミュニケーションⅠ のみ）

単 元 名								
聞く								
読む								
書く								
話す（やりとり）								
話す（発表する）								

※前頁の「■学習する単元とおおよその時期」とリンクさせてください